

上田市子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート
< 単純集計概要報告書 >

株式会社ぎょうせい

調査概要

(1) 調査地域

上田市全域

(2) 調査対象

平成 26 年 2 月 1 日時点での上田市住民基本台帳に登録されている就学前児童・小学生児童が属する世帯

(3) 調査数

未就学児童 2,000

小学生児童 2,000

(4) 調査対象の抽出

住民基本台帳から上記条件に基づき無作為抽出

(5) 調査方法

郵送による配布及び回収

(6) 調査期間

平成 26 年 2 月 15 日 (土) ~ 2 月 25 日 (火)

回収結果

	調査数	有効送付数	回収数 (回収率)
就学前児童が属する世帯	2,000	1,997	1,044 (52.3%)
小学生児童が属する世帯	2,000	1,998	1,078 (54.0%)
合計	4,000	3,995	2,122 (53.1%)

就学前児童調査報告

お子さんご家族の状況について（「問1」～「問6」）

- ・ 子どもの人数は50%が「2人」
- ・ 回答者の90%が母親。また回答者の93%は配偶者がいる。
- ・ 子育てを主にしているのは、53%がおもに母親、44%が父母両方でしている。

子育てに関する環境や悩みなどについて（「問7」～「問11」）

- ・ 約9割以上は日常的若しくは緊急時には子どもをみてもらえる「祖父母等の親族」がおり、緊急時に子どもをみてもらえる「友人・知人」がいる人は8%。しかし10%の人はいずれもいないと回答している。
- ・ 子育ての上で92%の人が「気軽に相談できる人がいる」と答え、相談先としては祖父母などの親族が81%、友人・知人が78%、保育士27%、子育て支援施設が18%となっている。
- ・ 子育てに関する悩みとしては、「経済的な負担に関すること」が35%、「子どもをしかりすぎている」が33%、「食事や栄養に関すること」が32%、「病気や発育・発達に関すること」26%、「育児やしつけの方法」が24%だった。

地域の子育て支援事業の利用状況について（「問12」～「問14」）

- ・ 地域子育て支援拠点事業では、68%の人が利用していない。「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」人が46%だった。また「利用していないが、今後利用したい」人は23%だった。
- ・ 子育て支援事業の認知度は、すべての事業で50%以上だった。中でも「地域子育て支援拠点事業」、「ながの子育て家庭優待パスポート」、「上田市内科・小児科初期救急センター」は96%超だった。
- ・ 利用したことがある事業は、「ながの子育て家庭優待パスポート」が85%、「地域子育て支援拠点事業」が78%だった。また、今後利用したい事業は、「ながの子育て家庭優待パスポート」が87%、「上田市内科・小児科初期救急センター」が78%だった。

保護者の仕事について（「問15」～「問18」）

- ・ 母親は、30%がパート・アルバイト、18%がフルタイムで、そのうち64%が週5日、22%が1日当たり8時間働いている。
- ・ 父親は、62%がフルタイムで、そのうち61%が週5日、31%が1日当たり8時間働いている。
- ・ パート・アルバイト就労している母親の36%が今後も続けたいと考えており、父親の40%は「フルタイムへの転換希望があり実現の見込みがある」と答えている。
- ・ 就労していない母親のうち54%が、「一番下の子どもが成長したら働きたい」と考えており、そのうち、46%の母親が一番下の子どもが3歳になったら就労したいと考えている。父親は83%が「すぐにも、もしくは1年以内に働きたい」と考えている。
- ・ 現在就労していない母親の今後希望する就労形態は、46%がパート・アルバイトで、39%は週5日の就労を希望している。また、父親の希望する就労形態は、50%がフルタイムであり、(33)%がパート・アルバイトで、そのうち(100)%は週3日の就労を希望している。

平日の定期的な保育園・幼稚園等の利用状況について（「問19」～「問26」）

- ・ 定期的な幼稚園や保育所等の利用は、64%が「利用している」。「利用していない」は35%だった。利用している施設は保育園が70%、幼稚園が23%で、週5日利用が87%だった。

- ・ 利用している教育・保育事業の場所としては、97%が上田市内だった。
- ・ 保育園・幼稚園等を利用している理由としては、「子どもの教育や発達のため」及び「子育てをしている方が現在働いている」が67%だった。
- ・ 今後の定期的に利用したい事業は、74%の人が「保育園」、37%が「幼稚園」で、96%の人が上田市内を希望している。他市町村を希望する理由として、44%が「実家等に近い」だった。

土曜・休日や長期休暇中の定期的な保育園・幼稚園等の利用希望について（「問27」～「問30」）

- ・ 土曜日の定期的な保育園・幼稚園等の利用は、「利用する必要がない」が66%、「月に1～2回は利用したい」が24%だった。また、休日の定期的な利用に関しては、「利用する必要がない」が84%、「月に1～2回利用したい」が11%だった。
- ・ 月に1～2回利用したいと回答した方に理由をたずねたところ、74%が「月に数回仕事が入るため」、「平日にできなかった用事を済ませるため」が30%、「息抜き・リフレッシュ」が26%だった。
- ・ 幼稚園を利用している人のうち、夏休みや冬休みなどの長期休暇中は51%が「利用する必要はない」、「週に数日利用したい」が27%だった。また、週に数日利用したいと回答した方に理由をたずねたところ、60%が「月に数回仕事が入るため」で、「息抜き・リフレッシュ」が30%、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が27%だった。

病気の際の対応について（「問31」～「問34」）

- ・ 定期的に保育園・幼稚園等を利用している人のうち、86%の人が病気やケガで利用できなかったことがあった。その場合の対処方法としては、「母親が休んだ」が71%、「親族・知人に子どもをみてもらった」が43%、「働いていない方がみた」が23%、「父親が休んだ」が22%だった。
- ・ 病児保育センターの利用に関しては、「利用したいとは思わない」が79%、「できれば利用したい」が19%だった。利用したいと思わない理由としては、「他人にみてもらうのが不安」が51%、「親が仕事を休んで対応する」が47%だった。

不定期の保育園・幼稚園等の利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用について（「問35」～「問37」）

- ・ 保育園・幼稚園等の不定期利用については、71%の人が利用していない。利用希望では、93%の人が「利用したい」、「利用する必要はない」は5%だった。
- ・ 利用したい理由としては、「冠婚葬祭や通院などのため」が70%、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習いごと等）リフレッシュ目的」が67%だった。
- ・ 子どもを泊りがけで家族以外の人に預けた機会は、82%の人が「なかった」と多数を占めた。「あった」と答えた人は13%だった。預けた人の場合、対処方法としては「親族・知人にみてもらった」が84%、「仕方なく子どもを同行させた」が11%だった。

小学校入学後の放課後の過ごし方の希望等について（「問38」～「問40」）

- ・ 低学年の放課後の過ごし方としては、「自宅」が58%、「習い事」が40%、「児童館・児童センター」が32%、「祖父母や友人・知人宅」が28%だった。
- ・ 高学年の放課後の過ごし方としては、「自宅」が64%、「習い事」が55%、「祖父母や友人・知人宅」が29%、「児童館・児童センター」が28%だった。
- ・ 小学校入学後の放課後に放課後児童クラブですごさせたいと回答した方の土曜日の利用意向は、55%が「利用する必要はない」、「低学年の間は利用したい」が27%だった。また、日曜・祝日の利用意向は78%が「利用する必要はない」、「低学年の間は利用したい」は9%だった。

- ・ 長期休暇中の利用意向は 49%が「低学年の間は利用したい」、「高学年まで利用したい」が 34%だった。

育児休業や短時間勤務制度など職場での仕事と子育ての両立支援制度について（「問 41」～「問 48」）

- ・ 育児休業取得について、母親の 30%は「取得した」、「取得していない」は 20%だった。取得していない理由として「職場に制度がなかった」21%、「育児休業を取りにくい雰囲気があった」20%、「仕事に戻るのが難しそうだった」18%などが上げられたが、55%は子育てや家事に専念するため退職している。
- ・ 父親の育児休業取得について 79%が「取得していない」。その理由として「仕事が忙しかった」38%、「制度を利用する必要がなかった」38%、「育児休業を取りにくい雰囲気があった」32%、「経済的に苦しくなる」28%などが上げられる。
- ・ 育児休業取得後職場に復帰した、「母親」は 72%、「父親」は 79%。
- ・ 職場復帰のタイミングについて母親の 77%、父親の 84%が年度初めの入所以外のタイミングだった。
- ・ 職場復帰後の短時間勤務制度について、母親は「利用しなかった（できなかった）」36%、「利用した」33%、「必要がなかった」29%、父親は「利用する必要がなかった」31%、「利用しなかった（できなかった）」26%、「利用した」10%だった。
- ・ 利用しなかった理由として、母親は「職場に取りにくい雰囲気があった」69%、「仕事が忙しかった」47%、「短時間勤務にすると給料が減額される」31%などが上げられ、父親は「職場に取りにくい雰囲気があった」60%、「仕事が忙しかった」60%などが上げられる。
- ・ 子どもが 1 歳になったら必ず利用できる事業がある場合、現在育児休業中の母親の 89%が、「1 歳になるまで育児休業を取得したい」と思っている。
- ・ 上田市の子育て環境や支援の満足度は、「3」が 40%、「2」が 22%、「4」が 21%、「1」が 6%だった。
- ・ 子育ての環境整備充実のために希望する支援策として、「保育園や幼稚園等にかかる費用負担の軽減」が 73%、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」が 72%、「子どもが安心して遊べる公園や広場を整備してほしい」が 71%、「安心して出産できる環境整備」が 51%、「企業・商店による子育て家庭優待サービスの促進・充実」が 49%だった。また「子育てについて学べる機会」と回答した 32%の方のうち、62%が「母親を対象」、「父親を対象」が 57%、「祖父母を対象」が 34%だった。

小学生調査結果

お子さんご家族の状況について（「問1」～「問6」）

- ・ 子どもの人数は52%が「2人」
- ・ 回答者の約88%が母親。また、回答者の87%は配偶者がいる。
- ・ 子育てを主にしているのは、「父母両方」が51%、「おもに母親」が45%。

子育てに関する環境や悩みについて（「問7」～「問11」）

- ・ 約9割以上は日常的若しくは緊急時には子どもをみてもらえる「祖父母等の親族」がおり、緊急時に子どもをみてもらえる「友人・知人」がいる人は14%。しかし10%はいずれもないと回答している。
- ・ 子育ての上で90%の人が「気軽に相談できる人がいる」と答え、相談先としては「友人・知人」が78%、「祖父母などの親族」が75%、「学校の先生」が32%となっている。
- ・ 子育てに関する悩みとしては、「経済的な負担に関すること」が36%、「子どもの教育」が31%、「子どもをしかりすぎている」が26%、「子どもとの時間を十分に取れない」が25%、「病気や発育・発達に関すること」20%などだった。

保護者の仕事について（「問12」～「問15」）

- ・ 母親は、45%がパート・アルバイト、32%がフルタイムで、そのうち64%が週5日、24%が1日当たり8時間働いている。
- ・ 父親は、76%がフルタイムで、そのうち59%が週5日、33%が1日当たり8時間働いている。
- ・ パート・アルバイト就労している母親の42%が今後も続けたいと考えており、父親の40%は「フルタイムへの転換希望はあるが実現の見込みはない」と答えている。
- ・ 就労していない母親のうち41%が「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」、27%が「一番下の子どもが希望年齢になったところに働きたい」と考えている。一番下の子どもの希望年齢は7歳が31%、3歳が23%だった。父親は28%が「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」と考えている。
- ・ 現在就労していない母親の今後希望する就労形態は、60%がパート・アルバイトで、37%は週5日の就労を希望している。また、父親の66%がフルタイムでの就労を希望している。

放課後の過ごし方の希望等について（「問16」～「問18」）

- ・ 低学年のお子さんがある方の放課後の過ごし方の希望として、「自宅」が35%、「習い事」が21%、「放課後児童クラブ」が14%、「祖父母や友人・知人宅」が11%だった。
- ・ 小学生のお子さんがある方全体の高学年の放課後の過ごし方の希望として、「自宅」が80%、「習い事」が51%、「祖父母や友人・知人宅」が21%、「放課後児童クラブ」が15%だった。
- ・ 放課後児童クラブですごさせたいと回答した方の土曜日の利用意向は、57%が「利用する必要はない」、「高学年まで利用したい」が21%だった。また、日曜・祝日の利用意向は74%が「利用する必要はない」、「高学年まで利用したい」は9%だった。
- ・ 長期休暇中の利用意向は50%が「高学年まで利用したい」、「低学年の間は利用したい」が31%だった。

育児休業や短時間勤務制度など職場での仕事と子育ての両立支援制度について（「問 19」～「問 25」）

- ・ 育児休業取得について、母親の 25%は「取得した」、取得していないは 16%だった。取得していない理由として「職場に制度がなかった」24%、「その他」24%、「育児休業を取りにくい雰囲気があった」12%などが上げられたが、39%は子育てや家事に専念するため退職している。
- ・ 父親の育児休業取得について 79%が「取得していない」。その理由として「制度を利用する必要がなかった」36%、「仕事が忙しかった」35%、「育児休業を取りにくい雰囲気があった」26%、「経済的に苦しくなる」26%などが上げられる。
- ・ 育児休業取得後職場に復帰した、「母親」は 89%、「父親」は 87%。
- ・ 職場復帰のタイミングについて母親の 75%、父親の 85%が年度初めの入所以外のタイミングだった。
- ・ 職場復帰後の短時間勤務制度について、母親は「利用しなかった（できなかった）」42%、「利用した」28%、「必要がなかった」21%だった。また、父親は「利用する必要がなかった」43%、「利用しなかった（できなかった）」28%だった。
- ・ 利用しなかった理由として、母親は「職場に取りにくい雰囲気があった」41%、「職場に制度がなかった」40%、「仕事が忙しかった」29%、「制度を利用できることをしらなかった」17%などが上げられ、父親は「短時間勤務にすると給与が減額させる」100%、「職場に取りにくい雰囲気があった」50%、「仕事が忙しかった」50%「制度を利用できることを知らなかった」50%などが上げられる。
- ・ 上田市の子育て環境や支援の満足度は、「3」が 39%、「2」が 29%、「1」が 10%、「4」が 9%だった。
- ・ 子育ての環境整備充実のために希望する支援策として、「教育にかかる経費の軽減」が 69%、「子どもが放課後に安心してすごせる場所を作って欲しい」が 49%、「企業・商店による子育て家庭優待サービスを促進・充実」が 39%、「企業に対して職場環境改善の働きかけ」が 29%、「子育てについて学べる機会を作って欲しい」が 28%、「奨学金制度などの内容を充実して欲しい」が 26%だった。また「子育てについて学べる機会」と回答した 32%の方のうち、68%が「母親を対象」、「父親を対象」が 60%、「祖父母を対象」が 34%だった。

以上

上田市 就学前児童 自由回答まとめ

問11 子育てや教育をする上で、周囲（身近な人、市役所担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

- 就園児でも気軽に安価で預けられる場がほしい。
- 一時預かりサービスの充実。（複数）
 - ・ 公立の受け入れ人数を増やしてほしい。料金が低い。
 - ・ 院内でも利用できる託児サービスがあるといい。
 - ・ 土、日、祝日でも一時預かりサービスがほしい。
 - ・ 子どもの年齢にあった預かり場所がほしい。小さい子と年中～年長など分けて見てほしい。
 - ・ 緊急時だけでなく、用事の際に無料または安価で気軽に24時間預けられる場所がほしい。
 - ・ 夕方から夜まで、子どもを見てもらえるサービスがあるといい。
 - ・ 子どもを預けられる施設の充実。（例）無料で預けられる。日曜、祭日でも利用できる。仕事をしなくても、一時預かりなど利用しやすい金額で利用したい。
- 医療費の医療機関窓口での支払い無料化。
- もっと子育て支援金を増額してほしい。
- 教育資金や必要経費（オムツ、ゴミ袋、ミルク等）の援助。
- 子ども手当は年収にかかわらず一律に出すべき。子どもの人数が多いほど一定額ではなく比例して増やすべき。経済面が子育てをする上で充実したほうがありがたい。
- 女性の社会進出よりも子ども手当をもう少し増やし、母親、両親ともに子どもといられる時間を増やせるようにするのが良い。
- 子どもが体を動かして遊べる無料の室内空間がほしい。
- 支援センターが近くにないので、菅平にも子どもが遊べる場所をつくってほしい。サンアパーク内に遊具を設置してほしい。
- 幅広い年齢の子ども達と一緒に遊ぶことができる場所がほしい。
- 講習会や親子参加型のイベントの開催。
- 支援センターなどで同年代の子どもや親が集まれるイベントを定期的にやってほしい。支援サービスをわかりやすく説明してほしい。
- 地域や地区での同年代の子どもをもつ親や子どもを対象にしたふれあいや交流の機会を作してほしい。
- 近い地区内で親子が集まる機会、場所の提供。

- 子どもを預けて、同年代の子どもの親同士で話をする場がほしい。子どもがいるとストレス発散できない。
- 地域社会との交流。
- 同年代の子どもや親が交流できて、遊べる環境があるといい。
- 同年代の子ども達と知り合える場所を提供してほしい。
- 子育てと仕事を両立することをサポートしてもらえる対策。（例）啓蒙活動、誰もが気兼ねなく休みを取れる環境
- 市の担当者によって対応に差がある。親身になってサポートしてほしい。
- 年1度ぐらい、自宅訪問や電話でのサポートがあるといい。
- 平日の集団健診、予防接種等で仕事を休まなくてはならなかったので、仕事を休まなくていいサポートがほしい。
- 母親へのサポートをしてほしい。（例）子育て経験者（今の子育てに理解ある方）に相談にのってほしい。母親だけでなく地域・家族で子ども達を見守ってほしい。
- 両親に対するサポートがほしい。（例）父親に子育ての仕事を十分理解するイベント、母親の体調を気遣ってほしい。自分1人の時間を持てるように託児付セミナーの開催、料理献立に対するサポート
- 気軽に相談できる場所や機会がほしい。（複数）
 - ・ インターネット等で24時間いつでも相談できる無料のサービス。
 - ・ お年寄りの子育てのプロと子育て中の母親が交流できて、アドバイスをもらえる場
 - ・ 健診以外でも個別の相談の機会がほしい。
 - ・ 子育ての相談にのってほしい。（例）家庭訪問、電話相談、子どもの成長にあわせたセミナー
 - ・ 子育ての悩みにより一緒に考えてほしい。支援やサービスによって、いろんな選択肢があることを気づかせてほしい。保育について相談できる窓口がない。
 - ・ 健診以外でも定期的に市の保健師や助産師さんに電話でのフォローや必要に応じて訪問してもらいたい。話を聞いてもらいたい。
- 子育て広場や児童館の先生が忙しそう。時々でいいので声をかけてもらえると相談しやすい。
- 身近な地区で気軽に話を聞いてもらえる機会。話を聞いてもらうだけでもサポートになる。
- 相談窓口が休日にもあるといい。
- 保健センター等、相談に来た方には定期的に声かけしてほしい。
- 話を聞いてほしい。

- 多様な子ども達、その両親ひとりひとりに適切な教育や相談。かつ、臨機応変で具体的な支援。（サービスや機関の案内にとどきらない）、多様性を全ての人々が認識してみんなが暮らしやすい地域社会になればいいと思います。そのために、困っている人をそのままにしない、そんな行政サービスを願います。
- 子どもがいても気軽に外出できる場所がほしい。
- 病気の子どもの送迎するサービスなど病児保育の充実。
- 病児保育のサポートがもっと簡単に受けられるといい。受け入れ先も、もう少しあるといい。
- 病児保育の充実。保育園入園時等に説明や利用申し込みができるといい。
- 病児保育をもっと気軽に利用したい。
- 夫婦ともに正社員として働きたいが、子どもが小さいので風邪など緊急時の対応のため正社員としての採用が難しい。病児保育の施設を充実してほしい。書類手続きをもっと簡単にしてほしい。
- 乳幼児健診で障害を見逃さないようにしてほしい。
- 情報提供。（複数）
 - ・ 小学校へあがる際のことを詳しく知りたい。
 - ・ 全保育園・幼稚園の情報が載った冊子がほしい。市に問い合わせも役所的な対応で相談しにくい。
 - ・ どんな子育てサービスがあるか、わからない。市報を配布してほしい。
 - ・ 健診や予防接種などハガキや封書、メールなどで知らせてほしい。
 - ・ 子どもの年齢に合わせた支援サービスの内容や利用申し込み方法を記した一覧表がほしい。
 - ・ 子育てについて新しい情報を知る機会がほしい。
 - ・ 子育て支援サービスの利用方法をわかりやすく公示してほしい。一か所で子育て支援サービスを教えてもらいたい。
 - ・ 市外、県外から引っ越してきた際、情報をどこで知ればいいかわからない。「お知らせ」等を郵送してほしい。
 - ・ 保育園、幼稚園の延長保育の時間帯や料金、給食の有無などの資料を一覧にしてほしい。
- 平日は仕事や子どもの世話で時間が取れないので、定期的にアンケートで意見を発信できるようにしてほしい。
- 保健師や栄養士さんから食育の話が聞きたい。
- 子どもの食事のレシピがあるといい。
- 子どもを預けやすい環境の整備。（例）子連れで気兼ねなく行ける場所での託児サービス。簡単な手続きで当日申し込み可能な施設。夕方、遅くまで預かってもらえる施設。
- 子育てに対する職場の理解と一時預かりサービスの充実。

- パート社員でもフレックス制度があれば働きやすい。
- 道路の整備。(例)ガードレールの間隔が大きいので子どもには危ない。通学路の除雪作業をしてほしい。
- 今のままで良い。

問49 最後に、保育園・幼稚園等の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

- 一時預かりサービスの充実。（複数）
 - ・ 休日の仕事に従事する人のケースも考えたシステムを考えてほしい。
 - ・ 費用の軽減。
 - ・ 手続きが面倒に思う。
 - ・ 現状、利用制限があり、預けたい時に預けられない。
 - ・ 子どもが病気になった時、園内に専門に見てくれる場所がある
- 長期休暇中の預かり保育サービスの充実。
- 休日も保育をしてほしい。平日保育だけでは今の企業の雇用状況に合っていない。
- 保育時間の延長。
- 児童センターの利用時間の見直し。9～18時ではフルタイムで働けない。
- 放課後児童クラブの充実。（例）保育園児と小学生でも同じ施設を利用できる制度
- 児童館利用の際の親の負担を軽減してほしい。
- 子育て世代の経済的負担の軽減。（複数）
 - ・ 保育料の軽減、ながの子育て家庭優待パスポートの充実
 - ・ 医療費補助、児童手当の増額
 - ・ 子どもの医療費窓口無料化。
 - ・ 18歳まで医療費全額無料化。
 - ・ 子育てのための無利子での融資など経済的な支援。
- 働く親への支援。（例）一時預かりサービスの充実、経済的な援助、企業への援助
- 子育てに対する職場の理解。（例）休みを取りやすい、時短勤務の実施
- 児童手当ではなく、延長保育や給食費の無料化など財源確保に使ってほしい。
- 妊娠中、出産後も上の子が保育園に通えるようにしてほしい。
- 幼稚園などへの補助金を増やして、保育士の増員と保育料負担の軽減。保育士の教育。
- 所得により保育料の決定するが、その金額では預けられないくらい高い。
- 保育料が高く何のために働いているのかわからなくなる。
- 保育料の一律化。

- 乳幼児健診、教室の時間がかかりすぎる。両親の意見も聞いてほしい。
- 公園の整備。（複数）
 - ・子どもが安心して遊ぶことのできる広い大きい遊具のある公園をつくってほしい。
 - ・外で思いっきり遊べる公園の充実。
 - ・公園と無料で遊べる屋内のこども広場を増やしてほしい。
 - ・公園、室内で安心して遊べる場所を増やしてほしい。
 - ・現状では少なすぎる。
 - ・親子で遊べる公園の整備。
 - ・アスレチックなどが充実し公園の整備。
 - ・土日の園庭利用。
 - ・長野の城山動物園のような無料で遊べる施設や公園の整備。
 - ・未就園児が安心して毎日遊ぶことができる場所がほしい。
 - ・障害をもった子どもでも親子で気軽に遊びに行ける場所がほしい。
 - ・夏場に遊べる親水施設
- 3世代（祖父母、親、子ども）と同時に過ごせる場がほしい。父親同士の交流の場があるといい。
- 地域の子どものお年寄りが交流できる場所がほしい。
- 地域全体で子育てしやすい環境をつくる。（例）保育園、幼稚園の壁をつくらない。
- 発達障害等、障害をもつ子どもに対する専門員の増加。
- 子育てに関する情報をもっと発信してほしい。
- 子育てに関する部署が複数あり、わかりづらい。
- 子育て広場の情報をわかりやすく、より多く提供してほしい。
- 保育園の入園基準の見直し。
- 市立保育園の入園基準の見直し。祖父母が同居の場合など。
- 保育園、幼稚園の先生の人数を増やしてほしい。
- 保育士の数を増やして、保育の質を向上してほしい。
- 保育士の確保とスキルアップ。
- 保育の時間の見直し（早朝保育を30分早めてほしい）。
- 延長保育や長期休暇中の保育の充実。

- 保育園の園行事での親への負担の軽減。
- フルタイム勤務に対応できる保育施設の不足。
- 園舎の整備（クーラー設置）。
- 税金の使い方を工夫してほしい。（例）市役所の日曜日営業、保育園の職員の待遇改善
- 働く母親の環境改善をしてほしい。
- ハローワークに子どもを連れて行ける環境が欲しい。
- 古い園舎の建て直し。園舎が古いのに払っている保育料が一緒なのは不平等だと思う。
- 保育園と幼稚園が自由に選択できるようにしてほしい。
- 食育に力を入れてほしい。
- 小学校の人数が少なくて不安。少人数の学校で学ぶことが良いことか疑問。
- 子どもの帰宅時間をサイレンで知らせてほしい。
- 支援センターのサービスの充実。
- 市の職員の対応がいい（支援センター、保健師さん等）。
- アンケート結果を公表してほしい。
- 24時間対応の救急指定病院の整備。
- 夜間の小児救急センターを含む医療機関の充実。
- 病児保育の手続きの簡素化。
- 病児保育を増やしてほしい。
- 小児科初期救急センターや医療電話相談（#8000）の受付時間の延長をしてほしい。又は開始時間を今より遅らせて診察時間、相談時間を深夜に充実して欲しいと思います。
- 医療の充実。（例）24時間365日対応の小児医療センター、安心して出産できる病院の整備

上田市 小学生児童 自由回答まとめ

問11 子育てや教育をする上で、周囲（身近な人、市役所の担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

- 緊急時の預け先がほしい。（複数）
- 児童クラブや仕事の際に一人で留守番させないといけないので病児保育の年齢を小学校1年生までひきあげてほしい。
- 前もって申し込みをしなくても緊急時に一時預かりしてもらえるシステム。
- 仕事をしていても安心して子育てできるサポート体制を整えてほしい。
- 気軽に利用できる児童館がほしい。（複数）
- 日常的に子どもをみてもらえる児童館のような場所が、もっと多くあるといい。利用時間も延長してほしい。
- 仕事をしていなくても、児童クラブを利用したい。体を使って遊べる場所を提供してほしい。
- 24時間無料の児童センターがほしい。
- 1学級の児童数を少なくして、できるだけ多くの先生の目のある中で授業や生活ができると安心できる。
- 親同士が気軽に相談できる機会があるといい。
- 親も子も気軽に相談できる場所があること。
- 気軽に相談できる学校の先生がいること。学校の先生達は忙しい様子なので、些細なことでは連絡がとりづらい。
- 学校での相談日が平日なので、仕事のため中々行くことができない。先生宛の手紙を入れられるような箱など玄関に設置してほしい。
- 専門的な知識をもった人が学校にいるシステム。電話相談などしてほしい。
- 電話相談など気軽に相談できる窓口がほしい。
- ネットの掲示板のような形の相談Q&Aがあるといい。
- すぐに相談できる体制づくり。
- 孤立しないように声をかけてくれる、悩みに的確に答えてくれるような相談できる場所がほしい。
- 教育費の軽減など経済的なサポート。
- 子どもの医療費無料化、子育て支援金の増額
- 相手を理解するための言葉かけをしてほしい。（例）はげまし、ねぎらいの言葉かけ

- 地域の中で安心して子育てできる環境。子供がうまく育っていなくても、悪口（悪い子だね等）を言わず“大丈夫”という声をかけてもらえるだけで安心できる。挨拶がきちんとでき、優しく静かな子供が良い子。という考えで判断、評価をされると、安心して子育てができない。母親も大事にされると、子供を大切にしたいという気持ちで育児ができるのだと思う。
- 地域の人達との交流できる場所がほしい。
- 地域とのつながりの中で、子どもを育てる姿勢が大切。相談できる近所の大人の存在が必要。
- 学校の登下校、外あそびの時、危ない事をしていたら近所の方が直接その場で叱って下さるような関係を持ちたいと思う。
- 学校とのコミュニケーションをもっととりたい。子どもの様子や気軽に相談したい。
- 家庭と学校のやり取りをやすくしてほしい。年1回の懇談会では時間も短いので、もう少し話ができる時間をつくってほしい。
- 保護者と学校の間に入って話をサポートしてほしい。
- 学問だけでなく、山や川での遊びや自然（特に、長野県は自然豊かなので）にふれる学びを教えていただけると、ありがたいです。
- 障害のある子どもについて相談できる場所、機会がほしい。週1回通える療育機関がほしい。
- 子供の年齢に応じた情報がお便りで来ると良いかも（それは毎年でなくても良いと思います。内容は栄養やしつけ、教育費について、放射能対策など）長野県も汚染が無い訳ではないので。
- 事務的な先生が多い気がする。もっと子どもと積極的にかかわってほしい。
- 学校の先生の質の向上。（先生によって学校生活は左右されると思うので）
- 子どもの良い部分、伸ばしていけるところなどを第三者から意見がきけるといい。話を聞いてくれる人がほしい。
- 現在の子育てに対する地域の理解。
- 学校で道徳的な学びを重視してほしい。
- 同じ年齢の子どもの親同士が集まって話せる場所がほしい。
- 同じ悩みをもった人が話あえる場所がほしい。
- 異年齢の子どもが集まれる場所がほしい。
- 話を聞いてくれる人がほしい。
- ファミリーサポートの登録が面倒。訪問して悩むなどサポートしてくれる人がほしい。
- 不登校の親の会など、同じ境遇の子どもがいる人が集まれる場所がほしい。
- メディア教育に力を入れてほしい（小さい時からメディアとの上手な付き合い方を母親を含めて教えてほしい）。
- 自治会の役、学校の仕事が多く負担が大きい。子どもとの時間がとれない。

- 子育てに対する職場の理解。
- PTAの負担が大きい。
- 気軽に子ども達が遊べる環境をつくってほしい。
- 学校からの手紙などに子育てのアドバイスがほしい。先の見通し等のアドバイスがあれば、いいと思う。(こんな風に、したらいいよなど...)
- 安心して頼れる大人の存在があること。
- 子どもの事を考えてくれるカウンセラーのような信頼できる第3者の大人がいること。
- 学校で学習面でのサポートをしてほしい。
- 家事の分担や声かけ。
- 今のままでよい。

問26 最後に、教育の環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

- 一時預かり及び緊急時の預かりサービスの充実。(複数)
 - ・ 学級閉鎖など不測の事態の時に子どもを預けられるサービスがほしい。
 - ・ 学校が休みになった際の一時預かりサービスの充実。
- 小学生の夏休み等の長い休みの時に、サマーキャンプ等の企画をしていただくと、ありがたい。
- 児童クラブ、学童保育、児童館など利用時間の見直し。
- 児童クラブの利用時間、料金の見直し。児童クラブの先生達の環境改善。
- 児童クラブの対象年齢の見直し。
- 児童クラブ利用対象者の見直し(専業主婦家庭の子どもも児童クラブを利用できるようにしてほしい)。
- 児童クラブの充実。児童クラブ以外でも、どの子ども安心して遊べる施設がほしい。
- 児童センターの利用時間の見直し。
- 児童クラブの職員の対応が悪い。児童クラブ内で習い事を併設してほしい。保護者の負担を減らしてほしい。
- 医療費の窓口負担無料化。
- 子ども手当の増額。
- 教育費の負担軽減。
- 子育て家庭優待サービスの充実。
- 保育料の負担軽減。
- 保育料の一律化。
- 認定こども園の補助金お願いしたい。
- 公園・通学路の整備。(複数)
 - ・ 子どもが安心して遊べる公園、広場がほしい。
 - ・ 公園や道路の整備。広場がないので、サッカーやボール遊びができる場所を作ってほしい。
 - ・ 公園の整備など子ども達だけで安心して遊べる場所がほしい。児童館のように誰でも利用できる施設がほしい。
 - ・ 放課後、安心して過ごす場所がほしい。(例)公園の整備、公民館でお年寄りと接するなど
 - ・ 子どもが放課後、安心して無料で過ごせる場所がほしい。

- 3歳児健診の時間変更（お昼頃のため仕事を休まなくてはならないので）。
- 校舎の設備投資など教育にお金をかけてほしい。
- 校舎の修理、設備の修繕及び建て直しを検討してほしい。
- 小学校・中学校自校給食の継続。
- 地域社会と交流できる場所がほしい（放課後、土曜の過ごし方として介護体験など）。
- 地域社会の協力（児童クラブ、児童センターや放課後子ども教室など多くの立場の人達が協力して子どもを育てる環境）。
- 障害のある子どもに対する理解。教員の教育をきちんとしてほしい。
- 障害のある子どもに対する学校のサポートの充実。
- 発達障害などについて気軽に相談できる窓口や支援がほしい。
- 発達障害をもつ子どもへの支援。
- 学校の先生の質の向上。
- 子育てについて相談できる場所がほしい。
- スクールカウンセラーも、もっと大勢の人に利用してもらいたい。
- 学校の担任の先生だけでなく、クラスを支援する人をつけてほしい。身近に相談できたり支援してくれる人がいる方が、子どもにとっても親にとってもありがたい。
- 学校の先生、保育士等、とても頑張っている先生方がいる中で、教育、子育て、知識の無さが気になる事がある。教育者、保育士等の方の為の研修の場がもっとあっても良いのではないかと思う。
- 今、浦里小学校は、統合になるのか？という不安の中です。まず第一に、子供の事を考えていただきたいです。例えば通学路の問題、学校が変わる不安、授業内容の進み方など、保護者への説明、子供への心のケアをお願いします。
- 児童数が少ない学校の統合・合併を検討してほしい。
- 特に子供の数が少ない地域に、子育て世代が移住できるような住環境（公営住宅など）を整え、子育てが均等になったり、活気が均等になればよいと思う。
- 親と子が過ごす時間が増えるような支援。
- 上田市内の病院にも院内学級をつくってほしい。
- 病児保育の拡充。
- 土曜日の学校再開。
- お店、飲食店など、（温泉施設も）、子連れ（障害児も含め）で利用しやすいトイレがあるとありがたい。（特に女性トイレに子ども用便座、男子用トイレ、ベビーベッド）
- 保育園、小学校の近くに駐車場がほしい。

- 市の窓口の相談内容がわかりづらい。相談事がいっぺんで済まない。
- 上田市の企業に協力してもらって、子どもの職業体験のような事をやらせてみたい。
- 子育てに対する職場の理解。
- 子育て世代の安定した雇用を希望します。
- 学校の授業の質の向上(1クラスの先生に人数を増やしてほしい。1クラスの人数が35名では多すぎる)。
- 市内の小学校、中学校のレベルを均一にしてほしい。1クラス30名以下にしてほしい。
- 学力のサポートを学校側でしてほしい。
- 文化施設に子どもがもっと入館しやすくしてほしい。
- 子育て支援事業の周知。